

日時：令和4年8月3日（水） 13時30分～15時30分

場所：4階全員協議会室

次第のとおり進行

資料2「鯖江市総合戦略 KPI（主な重要業績評価指標）一覧」の説明

総合政策課長 全体説明。令和3年度末の実績が把握できている92指標中 順調51指標55%、改善したがスピードが遅い 22指標24%、後退している19指標21%。進捗が今ひとつと思われる青以外のKPIについて、各担当部長から内容を説明する。

産業環境部長 1 改善はしたが目標達成できなかった。理由としては、コロナ禍の影響で積極的な雇用・事業拡大ができなかったことから、人員確保の動きが鈍かった。

産業環境部長 2 【指標変更】成長分野の技術開発・海外販路開拓件数→海外販路開拓件数
技術開発については、これまで十分に支援したことから、令和3年度から海外販路の指標のみに変更するとともに、それに伴うKPIの下降修正。

産業環境部長 4 コロナ禍の影響でAI・IoTへの設備投資がされにくかった。ただし、実績の1件は鯖江市の補助金を活用した分であり、同様の県補助を活用した企業もあった。

産業環境部長 5 【目標値変更】4→8（上方修正）
令和3年度末現時点で目標値を上回っているが、目標値を変更した後に令和3年度の実績が固まっている。

産業環境部長 6 【目標値変更】31→33（上方修正）
令和3年度末現時点で目標値を上回っているが、目標値を変更した後に令和3年度の実績が固まっている。

産業環境部長 7 【目標値変更】8→10（上方修正）
令和3年度末現時点で目標値を上回っているが、目標値を変更した後に令和3年度の実績が固まっている。

産業環境部長 8 今年度、総合政策課の方で鯖江市民の中から年代毎に無作為に1,000人抽出して鯖江市政に関する市民アンケートを実施した結果を反映している。後退した理由は、コロナ禍の影響により出勤制限等があり、働き方が大きく変化したことで、会社に行けないことや、同僚との交流もできなくなったことが原因だと思っている。また、本市は中小零細企業が多く、就業規則が定められてない企業が多いことも原因だと考えている。

総務部長 9 鯖江市政に関する市民アンケートの結果を反映。コロナ禍の影響で学校や保育施設の臨時休業、テレワーク勤務などにより、地域や家庭の中で女性への負荷が大きかったことが原因だと考えている。

福井新聞の論説にもあったとおり、経済分野のジェンダーギャップ指数が悪化しており、労働参加率や賃金の同等性（男性１００にすると女性７７．５）、管理職比率について力を入れるべきだと考えており、「さばえ３８組」により市内企業経営者の方向けに意識改革の働きかけをしている。

総務部長 12 昨年度実績から微増。実際に女性を登用している審議会のは数は、前年に比べて約５ポイント増したが、女性登用率となると伸び悩んでいる。充て職の会への働きかけが十分ではないため、各会の任期を把握しているため、個別の働きかけをしていきたい。

産業環境部長 13 【目標値変更】３２→３５（上方修正）

女性起業家数が微増。商工会議所で創業塾を開催しており、そこに参加する女性も増えている。アクセサリーの販売など、起業の大小に関わらず、自分でビジネスを起こす方が増えている実感がある。

産業環境部長 19 鯖江市政に関する市民アンケートの結果を反映。数字としては後退している。農業をとりまく環境は非常に厳しい。高齢化等により基幹的農業従事者が減少している中、新規就農者がおらず担い手不足。現役の方でも、今後継続していくのが難しいと思っている方が多い。労働力が足りないため、作付けを諦める方がいる。また、米価下落や燃料高騰も追い打ちとなっている。

総務部長 21 令和３年度実績については、令和２年度に提案された６本について、令和３年度に事業化されたものがなくて０件だった。コロナ禍の中で未来創造型の提案であったことが原因だと思っている。令和４年度はめぐね婚と交流寺プロジェクトの２本が事業化している。また、高校生版として鯖江高校の探究活動とタイアップしながら事業化を図る取り組みを進めていきたい。

総務部長 22 令和３年度の活動４件について、日野川スタンドアップパドルボード体験、手作りの信号機お披露目と交通安全教室、衆議院選挙の啓発動画製作、大谷公園での星空観測の活動があった。コロナ禍でも少人数で実施できるよう、小回りのきく運営を意識していきたい。

総合政策課長 24 令和２年度と比較すると増加しているが、コロナ禍で大阪や東京での移住フェアに参加できなかった。今年度７月末の大阪移住フェアも不参加としたが、１０月の移住フェアには参加したい。また、鯖江市の情報発信力を強めていきたい。

産業環境部長 28 【目標値変更】２２→２５（上方修正）

今後控えている新幹線開業や大阪万博などの誘客チャンスを見据えて、工房ショップ開設に力を入れて誘客につなげていきたい。

教委事務部長 29 【指標の把握方法変更】ものづくり博覧会が中止されたため、「ものづくりに関わる企業・事業所へのバーチャル見学会」実施後にアンケートを取る方法に変更。

【目標値変更】１７→２５（上方修正）

J K課が製作したバーチャルファクトリーツアーリズムのDVD見学後に実施したアンケート結果をベースに目標値を変更。今年度は、商工観光課と商工会

議所を関係者で製作する予定。

- 教委事務部長 30 上半期の出前講座の件数は多かったが、1～3月にオミクロン株が流行したことで激減した。今年度は7月15日現在で642人が受講しているため、今年度は目標達成できる見込み。
- 総務部長 31 実績値が後退。提案型市民主役事業25件、まちづくり基金事業21件であった。まちづくり基金事業については、新しい仕組みに作り替えたので今後実績を増やしていきたい。また、提案型事業については、コロナ禍で市の事業を精査したこともあり影響があった。(本来、特定の随意契約の業務を提案型として委託していたものについて、見直しにより本来の契約方法に戻した等。) 今後は、まちづくり基金事業で成功した事業を、市の事業に格上げして、委託事業にしていきたいと思っている。
- 総務部長 32 31番と同様。
- 総務部長 33 【目標値の変更】120→60(下降修正)
31番と同様。
- 総務部長 34 【指標変更】10地区の主なまちづくりイベントの参加数→各地区のまちづくり計画の策定
コロナ禍の影響により、大規模イベントの是非が問われていることから、昨年度に市民協働推進会議で提案された指標に変更した。
- 総合政策課長 35 コロナ禍の影響により、駐車場や農家民泊のシェアリング件数が減少(民間のPFにて確認)。今後の新幹線開業等にあわせてシェアカー等を検討していきたい。
- 産業環境部長 36 把握対象は、うるしの里会館、ラポーゼかわだ、道の駅、西山公園、つつじまつり、漆器まつり、めがねミュージアム、まなべの館、誠市、RENEW。コロナ禍の影響で行動制限があったことと、観光誘客に向けて積極的なPRができなかったことが原因。
- 産業環境部長 37 把握対象は、産業観光に限定しており、めがねミュージアム、うるしの里会館、石田縞の手織センター。コロナ禍の影響で行動制限があったことと、積極的なPRができなかったことが原因。しかし、今年度は、十分な感染対策をした上で、行動制限もしない方向性であり、つつじまつり等を実施しているため、実績値が増加する見込み。
- 総合政策課長 38 国の方では、6年連続最低出生数を更新している。戦略策定時の数字が4年間の平均値で算出していることから、今後も達成が難しい項目となると見込んでいる。今後も引き続き、子育てしやすい環境づくりに積極に取り組んでいきたい。
- 健康福祉部長 44 令和2年度と比較して伸びているが未達成。子育てサポーターとは、地域で子育てを応援する人達で登録制。令和3年度は124名の登録者のうち91名が活動に参加した。原因はコロナ禍での活動自粛・縮小。今後はコロナに注意しながら実施していくため伸びる見込み。
- 教委事務部長 46 アンケート調査は、4月頃に調査が実施されるため、前年度の状況に影響さ

れる。令和2年度は一斉臨時休業や遠足や体育祭の中止による影響が原因だと思う。また、令和3年度もコロナ禍の影響が大きかったことから、令和4年度実績にも影響がある見込み。今年度は思い出作りの事業を実施するので成果を検証しながら取り組む。

健康福祉部長 49 区長や高齢者サロン、集いの場でのアンケート結果を反映しており、地域見守り体制が整備されていると答えたのは、154町内のうちと137町内だった。コロナ禍の影響で話し合いや活動ができなかったのも、今後は更に周知を図っていきたい。

教委事務部長 50 令和2年度は高年大学を1年間休校していた。令和3年度は10月だけ開校したことによる実績。今年度は4月から通常通り開校しているため、参加者数は増加する。今後も学びの機会を提供していく。

教委事務部長 51 コロナ禍の影響により施設の利用中止や規模縮小していた。また、夏休みや冬は子供の感染拡大しており、自粛の動きが多かった。今年度は感染防止対策を実施しながら利用を進めていきたい。

総合政策課長 52 令和4年度にダイヤ改正をした。5～10%の利用者が増えている。アンケート調査は利用者以外の声も反映している。今後は利用者の声をしっかり聞いて満足度を上げていきたい。

総合政策課長 53 コロナ禍で生活に不安を感じている人が増えていることが原因だと思う。安心して暮らせる政策に取り組んでいきたい。

総務部長 54 【指標変更】公共サービスアプリの利用者数→オンライン申請件数
行政手続きのデジタル化に対応した指標とするため変更。オンライン申請を作成できる民間プラットフォーム（ロゴフォーム）の活用が職員に広がっている。ワクチン接種の予約数は除いてもこれだけの実績がある。

総務部長 55 高年大学での講座ができなかったことが原因。大手のキャリアが提供しているIT講座と差別化を意識しながら提供していきたい。

総務部長 57 【指標変更】オープンデータ公開件数→オープンデータ公開自動化数
令和3年度に子育てアプリ（つつじっこリトル+）を自動化している。今後は道路監視カメラ、駐車場の空き状況のオープンデータの自動化を進めていく予定。

都市整備部長 60 コロナ禍の影響が原因。令和4年度はつつじまつりを開催しているが、コロナ前の状況には届かないと思っている。来客者を増やすために、まちなか観光のイベントと連携や県内の道の駅とのスタンプラリーなど誘客に努めたい。

都市整備部長 61 コロナ禍の影響が原因。緊急事態宣言で52日間休業や幼稚園、保育園からの来園がなかったことが影響している。今後はレッサーパンダの家で写真展をするなど魅力を高められるよう取り組み、多くの方に動物園に来てもらえるよう努めていく。

総合政策課長 62 コロナ禍の影響で未達成だったが、令和2年度と比較すると若干伸びた。令和4年度ダイヤ改正で利用者が伸びている。

総合政策課長 63 コロナ禍の影響で未達成だったが、令和2年度と比較すると若干伸びた。今

後も利用促進を図っていく。

- 総合政策課長 64 鯖江市政に関する市民アンケートの結果を反映。新幹線開業に伴って、丹南市町との連携を強化するとともに、レンタカーやシェアカーの対応など、県外・市内の方が満足する二次交通網に努めていく。
- 総務部長 65 隊員の高齢化や体調不良が原因。次の担い手づくりが課題。現隊員に協力していただきながらバトンタッチできるよう取り組みたい。
- 総務部長 67 町内別の訓練が57町内、町内での出前講座が12町内。今年度から特別警報以外では活動をお願いしているため、今後増えていく見込み。タイムラインや防災マップづくりにも取り組んでいきたい。
- 総務部長 68 防災リーダー交流会の団体に委託。10名の受講があった。ここ2年間は年1回の開催だったが、今年度からは会場を広くして2回開催。
- 総合政策課長 73 令和4年度は3件の改修申請があるため、目標を達成する見込み。
- 産業環境部長 76 令和3年度から積極的に取り組んでおり、市の管理職が全町内に行って説明を行い、令和4年度から全町内の記名式を開始した。令和4年度の4月の燃えるゴミ削減率は前年同月比で26パーセント、5月は13パーセント、6月は20%の減となっているため維持していきたい。また、令和8年に新しい炉になり小さくなるので、ゴミの削減は喫緊の問題。市民の方には引き続き協力をお願いしたい。
- 産業環境部長 77 令和4年度から市民の方の意識が大きく変わっているので、資源化率もアップすることを期待している。
- 産業環境部長 78 【新規指標】CO2排出量
本市では、令和3年度にゼロカーボンシティ宣言をしており、新たな指標とした。環境省が公表した指標をベースにしている。今年度、本市に合った方法でCO2削減のための計画策定予定。環境省の推計よりも詳細なCO2削減の情報を公表する予定。
- 産業環境部長 79 補助制度の周知が十分でないことが原因だと思っている。周知徹底に努める。
- 都市整備部長 80 【指標変更】道路・河川里親の登録数→道路・河川里親の活動団体数
コロナ禍で活動できない団体が多かった。令和3年度は日野川堤防沿いの市道草刈りや河和田線のあじさい植樹等をしている。
- 総務部長 83 平均は一般職がC評価の一番上、現業はC評価の中間。人事評価制度のジレンマとして、評価が中心に寄ってしまう。現業職は人数が少ないので年度によってばらつきがある。今後は評価基準の精度を高めて、しっかりと職員に理解してもらいたいと思っている。
- 総務部長 84 83番と同様。
- 総務部長 94 【指標変更】性別記載欄の削除・見直し可能な申請書等の対応割合→性別記載欄の削除・見直し可能な申請書等の内、削除済の書類等の割合
制度上で見直し可能な書類について、どれだけ対応できたのかに変更。
- 総務部長 95 さばえNPOセンターがコロナ禍の影響で1ヶ月間閉館していたのが原因。今後は国際交流協会の知名度向上や講座の魅力を高めていきたい。

総合政策課長

総括。今回は、目標に向けた進捗が順調に推移していないK P Iにつきまして、ご説明させていただきましたが、これは、P D C AサイクルのC（チェック）にあたるわけございまして、結果を踏まえてA（見直し）を行う段階に入るわけございまして。これらK P Iの多くは、令和2年度同様、コロナ禍によって目標に到達できていない状況となっております。昨年度の総合戦略の一部改訂の検討をする中におきましても、コロナ禍により、総合戦略の計画策定当時とは様々な状況が大きく変化しておりますので、計画書内のK P Iを次の2点のとおり対応いたしました。

① 目標値を変更せず、コロナ禍の状況に応じた施策を展開し、目標達成に努める

② 新しい生活様式や価値に応じたK P Iへ見直し、目標達成に努める。

市といたしましては、今年度におきましても、引き続き、コロナ禍において、なお、少しでも目標に到達できるよう、工夫しながら事務事業の実施にあたってまいりますので、よろしくお願いいたします。

引き続き、資料3の説明。地方創生交付金等に係るK P Iの達成である。交付金等の制度要綱の規定で、事業実施に伴う効果の検証を行い、その結果を国に報告することになっている。資料N o. 3と同様に示している。順調に推移している場合は青色で全部で10指標、改善はしているもののスピードが遅いものは黄色で7指標、後退しているものはありませんでした。事業ごとに開始年度が違う。平成29年度からの事業がN o 1、N o 2、令和元年度からの事業がN o 3、令和2年度からの事業がN o 4、N o 5。N o 4、N o 5の事業が来年度以降も引き続き進捗管理し国に報告する。黄色の指標のある各事業について担当の部長から説明する。

資料3「地方創生交付金等活用事業に係るK P I」の説明

産業環境部長 1 「めがねのまちさばえ」次世代産業支援事業

（本市産医療器具、部品加工等の受注額）

令和2年度と比較して増加したがコロナ禍の影響により鈍化。コロナ禍が終わり、商談会や展示会が通常通りに開催できれば加速すると考えている。

健康福祉部長 2 生涯活躍のまちの推進に資する世代交流の拠点施設の整備事業

（神明苑宿泊数）

コロナ禍の影響が原因。令和2年度と比較すると170%の増。

（神明苑総売上額）

コロナ禍の影響が原因。令和2年度と比較すると増。

産業環境部長 3 新ふるさと県民の地域貢献促進事業 ※福井県、若狭町、鯖江市で合同申請

（県管理のKPI：企業訪問ツアー）※実際に来ていただく体験ツアーの実施

コロナ禍の影響により県外の方との交流することが難しかった。

産業環境部長 4 伝統工芸後継者育成産地連携プロジェクト ※県、越前市、越前町と実施。
(県管理の KPI : 伝統工芸産地主要施設および産業観光イベントの来場者数)
県外からの客足がコロナ禍の影響で少なかった。

総合政策課長 総括。以上、地方創生交付金等を活用した事業に係る K P I の達成状況を報告させていただきました。事業No.1 につきましては、4 指標の内 1 つが目標に達しなかったものの前年から増加し、残り 3 指標は目標を達成していることから、今年度は「地方創生に相当程度効果があった」と、事業No.2 につきましては、3 指標の内 2 つが目標に達しなかったものの前年から増加し、残り 1 指標は目標を達成していることから、今年度は「地方創生に相当程度効果があった」と、事業No.3 につきましては、4 指標の内 3 つが目標に達しなかったものの前年から増加し、残り 1 指標は目標を達成していることから、今年度は「地方創生に相当程度効果があった」と、事業No.4 につきましては、4 指標すべてが目標を達成していることから、今年度は「地方創生に非常に効果的であった」と、事業No.5 につきましては、3 指標の内 1 つ目が目標に達しなかったものの前年から増加し、2 つ目が目標を達成しておりますが、残りの 3 つ目の指標につきましては、管理しております福井県が実績を集計中とのことで、集計が出来次第全体評価を決定してまいります。

以上のことにつきまして、委員の皆様にご異議がなければ、内閣府に報告したいと考えております。

質疑応答

委員 1 57 番について、つつじっこリトル+のアプリ更新が自動化されていることを知らなかった。しっかりと情報発信をしているのか。また、2022 年 5 月から更新がないので自動反映が動いているのか。

総務部長 状況確認します。

委員 1 自動化の不具合だとしたら、現場も含めてチェックする担当がいらないことは問題だと思うし、HP で情報発信がされていない。また、デジタル推進課で何をデジタル化して、何を情報発信しているのか教えて欲しい。
ゴミ問題についても、なぜしないといけないのかをオープンデータ化で見える化させることで意識を変えていく必要があるのではないか。

総務部長 ご指摘いただいた点を踏まえて、情報発信も含めて行っていきたい。

委員 1 Facebook や Twitter でイベント情報などしっかり発信されていない。現在は定例会見とかちゃんねるくらい。Twitter はみたいと思う発信ができていない。HP と連携して垂れ流しをしているだけだと思うので、しっかりと見てもらう工夫をしていく必要があるのでは。

産業環境部長 ゴミの見える化は大事だと思う。分かりやすい情報発信を意識していく。

総合政策課長 SNS による情報発信について、議会でも LINE について指摘を受けた。担当部署にしっかり話をしていく。

会長 24、25 番について、コロナ禍で相談件数やアクセス数が増えているのはいいこと。現状、国のコロナ対策では行動制限等をかけていないので、移住フェア等には直接行ってもいいのではないかな。

総合政策課長 7 月末は感染者が増加傾向の中で、職員を守るために中止を判断した。今後は感染対策をしつつ直接行く方向性でいる。また、電話相談も増加しているので、移住支援の P R を積極的に行ってかつ、まちや人の魅力を発信することを最重要課題として今まで以上に取り組んでいきたい。その中で魅力あるまちとして選んでいただきたい。

委員 3 4 番の A I ・ I O T 導入支援について、同様の県補助があるとのことだが、県と市の補助の棲み分けはどうなっているのか。県で対応できない部分を市で賄っているのか。

8 番の若者が働きやすい環境が～のアンケート結果は、若者が回答した結果を集計しているのか。

9 番の女性が輝くまちの創造に～のアンケート結果は、女性が回答した結果を集計しているのか。

上記の 8 番と 9 番について、全体集計ならば指標に合わせた集計方法を行った方がいいのでは。

29 番の将来、市内の企業で働きたい生徒～のアンケート結果は、親の回答もあった方がいいのでは。

また、今回の達成した割合が高いことが良いのではなく、人口ビジョンとしての出生の数や社会減の数を良い方向持っていくことが重要だと思う。人口に直結するものもあればそうでないものもある。今回は人口に繋がる事業が見えづらかったと思った。

産業環境部長 4 番について、市補助は審査会を開催する関係で 6 月に申請を締め切っている。それ以降に補助申請を検討する場合には、県補助を活用していただく。また、県の補助額の方が高いため、企業が何をしたいかを考えた上で選択している。

総合政策課長 アンケートは無作為 1, 0 0 0 人のうち 5 0 2 人から回答をいただいたところ。コミバス等もそうだが、利用者や対象者など絞り込んだ方の声を聞くことも大切だと思っている。

また、今回は中間報告なので、指標 1 つ 1 つについて説明させていただきましたが、全体の方向性については、今後見直していきたいと思っている。

委員 4 45、46、47 番について、最近話題のヤングケアラーなど、弱者向けの支援はどのようなものがあるのか。

教委事務部長 先日の一般質問でも質問があったが実態把握は非常に難しい。ヤングケアラーは自分が認識しているのかも不明な部分がある、先般、「生活や学習で困っている方」を把握するためアンケートを行った。結果として数名の該当者がいたため、スクールカウンセラーにつなげるなど、必要な支援を行ったところ。今後、実態把握を含めて教育委員会と福祉部局と連携して行っていく。

委員 1 83、84 番の能力態度評価は民間企業だとボーナス等に反映すると思うが、鯖江市の人事評価制度はどこにつながっていくのか。

総務部長 目的は人材育成。業績評価と能力態度評価の 2 段階で評価している。民間だと減給や昇給もあるが、公務員は組合や原資の問題もあって難しい。なお、ボーナスには最大 5 % 程度が反映される。

会長 地方創生交付金について、達成できない項目があっても問題ないのか。

総合政策課長 全てが達成していない場合は対策が必要だが、1 項目でも達成しているのであれば中間年度でもあって問題ない。

会長 最終的には達成しなければならないのか。

総合政策課長 最終的には達成すべきものと認識しているが、コロナ禍の影響もある。しかし、税金を活用しているため、市民の皆さまに納得されるものとしたい。

事務局 閉会。